

3-3 景観形成基準（眺望景観を除く）の解説

(1) 建築物の景観形成基準の解説

【配置1】ゆとりと連続性のあるまち並みに配慮しましょう

■ 隣接する建築物と壁面線の連続性や意匠の調和を図るなど、まち並みの連続性に配慮する

- ・隣接する建築物と壁面の位置を揃えたり、ファサードのデザインの調和を考えるなど、連続性のあるまち並みとなるよう配慮しましょう。

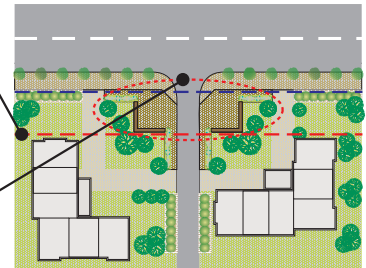
軒の高さを揃えるとすっきりとしたまち並みの印象になります。



■ 公共空間に面する場所では敷地際にゆとりとるおいの空間を創り出す

- ・通りやまち並みになじんだ敷地や建築物とするため、壁面後退により、オープンスペースや緑化空間として活用するなど、うるおいのある空間となるよう配慮しましょう。

壁面の後退位置を整えゆとりある空間を演出しましょう。
まちかどにオープンスペースを創りだし、公共空間に面してゆとりある景観を演出しましょう。

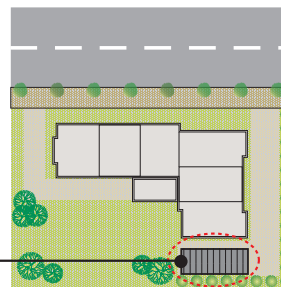


配置 該当地域	景観形成基準	
①	1	まち並みの連続性やゆとりのある沿道空間の確保に配慮する。
②④	2	街角広場、囲い込み広場、壁面後退等により、ゆとりのある景観に配慮する。
⑥	3	街角広場、囲い込み広場、通り抜け通路、壁面後退等によりゆとりのある景観に配慮する。
③	4	周囲の建物と壁面線が揃うよう配慮する。
③	5	敷地境界線または塀等に近接して建物を建てないよう配慮する。

【配置2】通りに面する付属建築物は目立たせないよう工夫しましょう

- ・駐車場や自転車置き場等は建物の背後など、目立ちにくい場所に配置しましょう。
- ・通りに面して設置する場合は、植栽などによって通りから見えにくくするよう配慮しましょう。

建物の背後や道路から見えにくい場所に駐輪場や駐車場を配置しましょう。



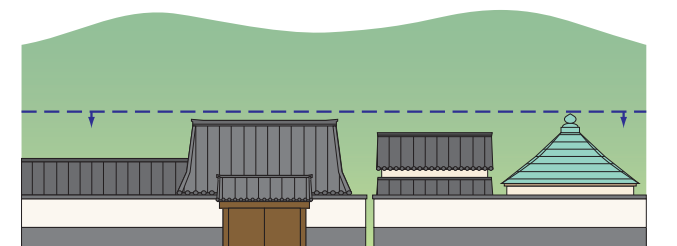
駐車場の前面に植栽地を設けた例

配置 該当地域	景観形成基準	
①～⑥	6	駐車場、自転車置き場等の付属建築物やごみ置き場等は、歩行者等の目に入りにくい配置とするか、目隠し等の配慮をする。

【高さ・規模】 広がりのある眺めが美しいまち並みに配慮しましょう

■ 寺社景観との調和を考えて建築物の高さや規模を低く抑える

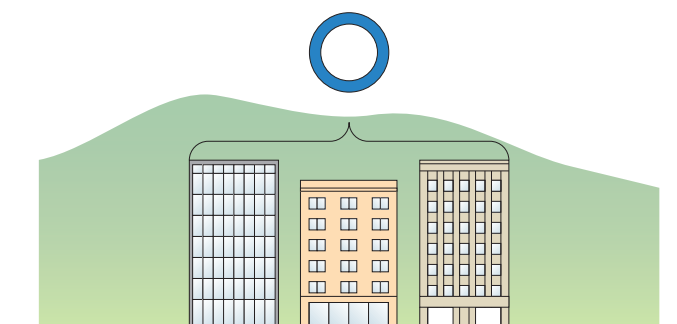
- ・ 眉山山麓周辺は、伝統的様式の寺社建築や門・塀が並ぶ落ち着いた佇まいを有する場所です。そうしたまち並み属性に配慮した建築物等の高さ・規模にしましょう。



沿道の建築物の高さを低く抑えることで、広がりのある眺めやまち並みのつながりに配慮しましょう。

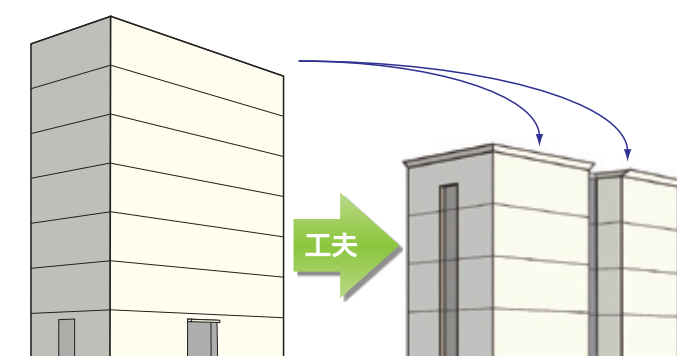
■ 広がりのある眺めを損なわないよう、建築物等の高さ・規模や配置を工夫する

- ・ 河川の対岸からの眉山への眺めに配慮し、山の稜線を遮らないよう建築物等の高さや規模を可能な限り抑える工夫をしましょう。



対岸から眉山方向を眺めた際に、できるかぎり山の稜線を遮らない様に、建物高さを低く抑える工夫をしましょう。

- ・ 建築物の長大な壁面は広がりのある眺望を阻害する要因となります。河川の対岸からの眉山への眺めに配慮し、建築物を分棟・分節化したり、スリットを設けるなどの工夫をしましょう。



単調で大きな壁面は、長大さを感じてしまいます。

建築物の棟を分けるなど、ボリューム感を低減させる工夫をしましょう。

高さ・規模		景観形成基準
該当地域		
③	7	周囲寺社景観との調和を保ち、低層に抑えるよう配慮する。ただし、伝統的塔状建物等で、周辺寺社景観に配慮した場合はこの限りではない
⑥	8	対岸等からの眉山への眺望を著しく妨げない高さ・規模とする。

【意匠・形態 1】 周辺と調和した意匠・形態として、まち並みの連続性に配慮しましょう

- ・まち並みの連続性に配慮し、建築物の意匠・形態が周囲から突出することのないよう一定の調和のもとで個性を演出するようにしましょう。



突出感のある建物はまち並みの連続性が損なわれてしまいます。意匠・形態を揃えるなど、まち並みの姿を整えましょう。

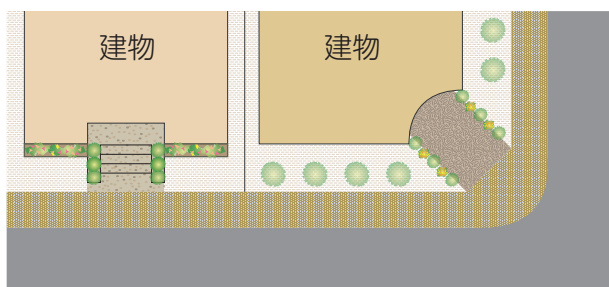


勾配屋根や外観意匠を整えてまち並みの連続性を創り出している例

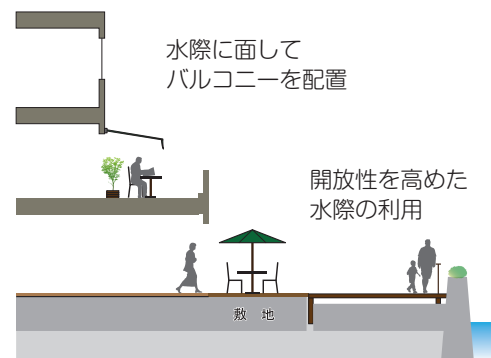
意匠・形態	景観形成基準	
該当地域		
①②④ ⑤⑥	9	周辺景観との調和やまち並みの連続性に配慮し、著しく不調和となる意匠・形態はさける。

【意匠・形態 2】 公共空間に正面性や開放感を感じさせる演出をしましょう

- ・幹線道路、公園、河川などの公共空間に面する部分は多くの人が目にします。そうした部分ではエントランスアプローチの配置や玄関周りの象徴的なしつらえにより正面性を演出しましょう。また、河川に面する部分は水辺を生かした開放的な空間としましょう。



建物のエントランス周りのしつらえにより、建物や敷地の正面性を演出しましょう。



水辺空間に面した建物は、建物の裏側を向けるのではなく、水際の空間を積極的に活用しましょう。

意匠・形態	景観形成基準	
該当地域		
①④	10	道路等公共空間からの正面性や周りから見たときの景観に配慮する。
③	11	道路等公共空間からの正面性や周りから見たときの景観に配慮し、著しく周辺寺社景観と不調和となる意匠・形態はさける。
②⑤⑥	12	道路等公共空間や水辺空間からの正面性や開放感、または周りから見たときの景観に配慮する。
④	17	道路等公共空間や徳島城跡（徳島中央公園）からの正面性に配慮し、歴史・文化的な景観としての演出に努める。
⑥	18	公共空間等からの正面性や開放感に配慮し、新町川の水辺空間としての演出に努める。

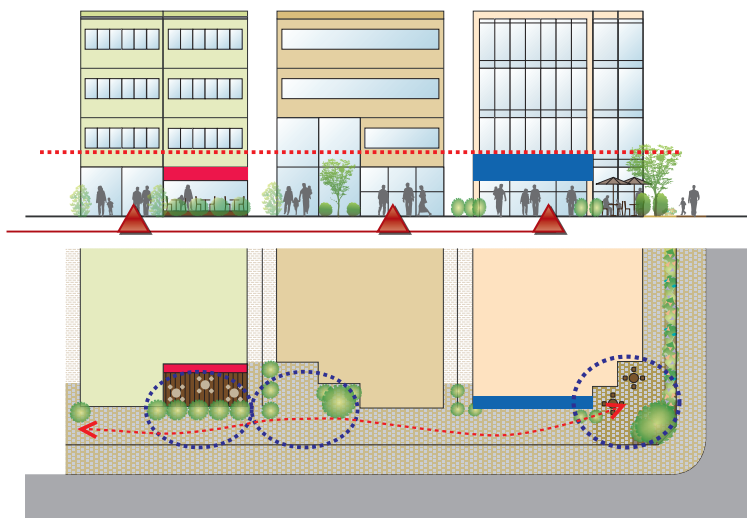
【意匠・形態 3】 歩いて楽しい魅力的なまち並みにしましょう

- ・新町橋通り周辺では、建築物の低層部を表情豊かなファサードとしたり、通りから建物内の様子が見ええるように工夫するなど、歩いて楽しいまち並みづくりに配慮しましょう。

建築物のファサードは低層部と中高層部とに分節化しましょう。

道路に面した建物低層部にショーウィンドウ等を配置して、通りの賑わいを演出しましょう。

敷際にオープンスペースや人が憩える空間を設けて賑わいづくりに努めましょう。



意匠・形態		景観形成基準	
該当地域			
②	13	屋根、外壁、ファサード（街路に面した壁面）等はデザイン的な工夫により魅力的なまち並みの形成に努める。	
②	14	隣り合う建築物と壁面線、階層、スカイラインを整える等、一体感のあるまち並みの形成に努める。	
②	15	商業施設等の1階はショーウィンド等の演出やオープンスペースを設けるなど、楽しい雰囲気づくりに努める。	

【意匠・形態 4】 寺社建築の屋根の連続性を損なわないようにしましょう

- ・眉山山麓周辺の寺社建築などは、和瓦・銅板葺き、勾配屋根とし、周辺との調和に配慮しましょう。



勾配屋根や棟高さが整い屋根の連続性が感じられる例



和瓦（いぶし銀系）や銅板葺き（緑青色）の例

意匠・形態等		景観形成基準	
該当地域			
③	16	屋根は勾配屋根とし、和瓦・銅板葺きとするように努め、伝統的様式とするように配慮する。	
③	22	瓦の色はいぶし銀系、黒系または落ち着きのある色調とする。	

【意匠・形態 5】 附属建築物や付帯設備等を目立たせないように工夫しましょう

- ・屋外階段や駐輪場施設が景観を阻害するものとならないよう、建築物のデザインと一体的なものとし、外観の色彩を調和させるなど工夫しましょう。



駐輪場の外観色彩や周りの植栽により目立たせないように工夫した例

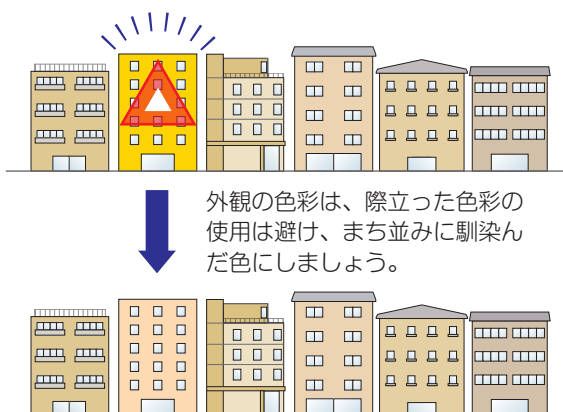


本体建築物と一体感のあるデザインとした屋外階段の設置例

意匠・形態	景観形成基準	
該当地域		
①②④ ⑤⑥	19	塔屋・屋外階段・附属建築物は、本体建築物と一体となるよう努める。

【色彩】 周辺の景観やまち並みから突出しない外観色彩にしましょう

- ・建築物の外観の色彩は、周辺の緑などの自然物の色彩や周辺のまち並みの色彩に配慮し、周囲から突出しない色彩としましょう。



意匠・形態	景観形成基準	
該当地域		
①⑤⑥	20	著しく周辺景観と不調和となる色彩はさける。
②	21	著しく周辺景観や眉山への眺望景観と不調和となる色彩はさける。
③④	24	落ち着いた色彩を基調とし、著しく周辺景観と不調和となる色彩はさける。

『色づかいのヒント』

周辺と調和する“色づかい”を考えましょう

■ 建築物等の色彩検討にあたって

- ・ 建築物等の外観や屋根の色彩を決める際には、周辺のまち並みや背景の自然景観との調和のある色使いが求められます。
- ・ 周囲の景観から突出したり、違和感を与えない心地よい景観をつくるためにいくつかのポイントがありますので、次の“色づかいのヒント”を参考にしてください。

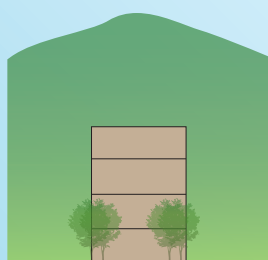
◆色づかいのヒント 周辺の自然物と調和しやすい色彩の組み合わせ

- ・ 建築物等の背後に山がある場合や、隣接して公園緑地や街路樹などの緑がある場合には、それらの緑との関係を考えて色使いを工夫しましょう。

●緑になじませる・緑が映える

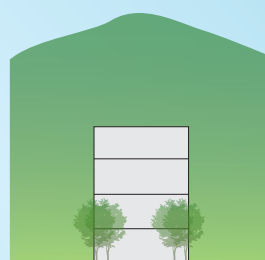
- ・ 周囲の緑との関係は“緑になじませる”、“緑が映える”の二つの考え方があります。周辺のまち並みや建築物の性格などに応じて工夫しましょう。

【“緑になじませる”色づかい例】



- ・ 緑の明度に近づけ、彩度を低く抑えたアースカラー（大地や木の幹の色等）を用いて緑になじませる

【“緑が映える”色づかい例】

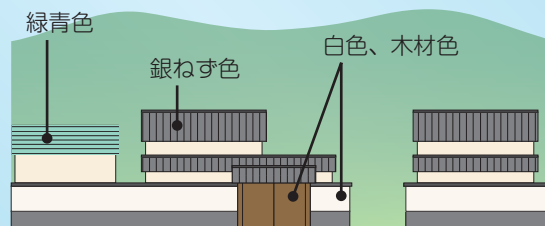


- ・ 明度差をつけて緑が映えるようにする

【伝統的素材を意識した色づかい】

- ・ しっくい白色、土壁や木材等に見られる薄いベージュ色、和瓦に見られる銀ねず色等は、周囲の緑とも調和します。

- ※ ただし、高層ビルなどの大きな壁面で白色を用いると、際立ってしまい、不調和になることがあります。



色彩に係わる用語等の解説

●色相（しきそう）とは

- ・ 色相は色味を表しています。赤（R）、黄（Y）、緑（G）、青（B）、紫（P）の5色相を基本とし、さらにその中間に黄赤（YR）、黄緑（YG）、青緑（BG）、青紫（PB）、赤紫（RP）を加えた10色相を基本色としています。

●明度（めいど）とは

- ・ 色の明るさ、暗さを表しています。

●彩度（さいど）とは

- ・ 色の鮮やかさを表しています。彩度の高い色は鮮やかで、彩度が低いほどくすんだ色となります。色味のない白、黒、グレーなどは無彩色といいます。

◆色づかいのヒント 周りのまち並みと調和しやすい色彩の組み合わせ

- ・色彩には、調和しやすい組み合わせがあります。色相の近い類似色を使用したり、明度と彩度の組み合わせによる色調（トーン）をそろえる方法があります。まち並みの中にある他の色彩との調和を考えると、これらの方法を活用しましょう。

●色相をそろえる

- ・色相をそろえて、明度や彩度に変化をつけた色彩を組み合わせる方法です。



●色調（トーン）をそろえる

- ・明度と彩度の組み合わせによる色調（トーン）をそろえて色相に変化をつけた色彩を組み合わせる方法です。



◆色づかいのヒント 外壁と屋根の色彩の組み合わせ

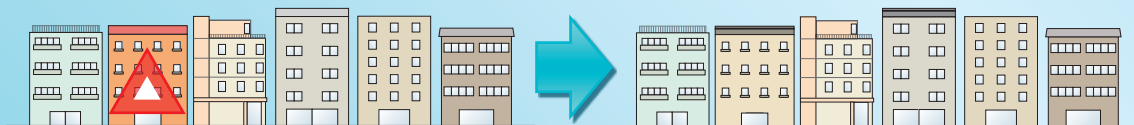
- ・建築物の色彩を考えるときには、地域の特性を踏まえ、まち並みの連続性に配慮したデザインや建築材料を使用することも重要です。外壁と屋根の色彩バランスを考えた魅力的な建築物としましょう。

●外壁の色彩

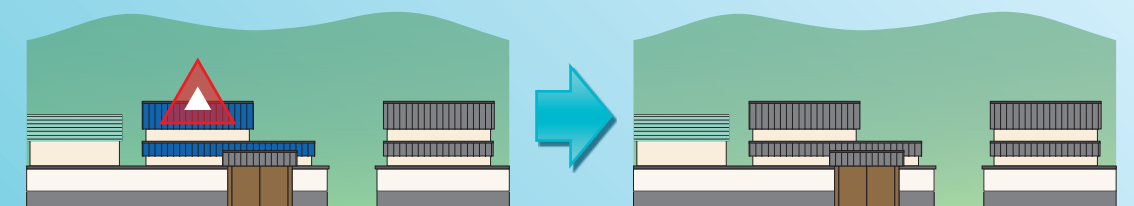
- ・外壁の色彩は地域やまち並みの中でみられる色彩の中から突出しないようにしましょう。
- ・隣接する建築物が伝統的な様式の場合、それらで用いられている材料や色彩をそろえて調和させるようにしましょう。

●屋根の色彩

- ・外壁よりも低彩度、低明度の色彩を使用すると安定感の感じられる外観となります。
- ・周囲に寺社など、伝統的様式の建築物がある場合には、いぶし銀系や黒系の色彩を使用すると、良好に調和させることができます。



屋上部分に低彩度、低明度の色彩を配置したり、陰影を創り出すデザインにすると、安定感を感じさせることができます。



いぶし銀系や黒系の色彩とともに、和瓦等の材料も合わせることで、より調和させることができます。

【材料】外壁は地域特性に配慮するとともに、耐久性のあるものを用いましょう

■ 外壁の材料は耐久性のある材料を使用する

- ・外壁の材料は、建築物の形態とともに重要な要素です。建築物の機能やデザインに応じた材料を選んだり、汚れにくさや耐久性のほか、時間の経過とともに、風合いを深める自然素材（木材、石、しっくい、土）などを使用する工夫が必要です。



外壁に石材を用いて存在感のあるものとしている例

材料 該当地域	景観形成基準	
①②④ ⑤⑥	25	周辺景観と調和した材料の使用に努める。
①②④ ⑤⑥	26	自然素材、または良質で汚れにくく、耐久性に優れた材料とし、適切な維持管理に努める。
③	27	周辺寺社景観と調和した材料を使用するか、良質で汚れにくく、耐久性に優れた材料とし、適切な維持管理に努める。

■ 寺社建築等、伝統的様式の外壁との調和に配慮する

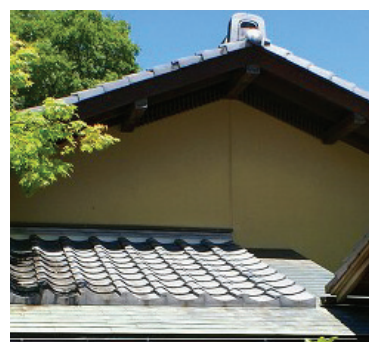
- ・眉山山麓周辺で、寺社建築等が周辺にある場合は、まち並みの連続性に配慮し、外壁の材料は、しっくい壁や木材等を用いましょう。また、これらの材料を用いることができない場合には、外壁の色彩は、しっくいの白色や木質に類する茶系色を用いるようにしましょう。



しっくい壁の例



押縁下見板張りの例



土壁色（茶系色）の吹付塗装壁の例

材料等 該当地域	景観形成基準	
③	23	壁の色は茶系、白系または落ち着いた色調とする。
③	28	壁は木材、しっくい壁等を使用するよう努める。

【建築設備】付帯する設備は目立たせないように工夫しましょう

- ・周辺の道路空間から建築設備が直視できないように、植栽地や塀の背後に配置したり、ルーバーや格子などで覆うなど、目立たせないように工夫しましょう。
- ・低層のまち並みが連なる場所においては、建築設備が景観を阻害する要因とならないように、屋上や壁面への露出配置はさけましょう。



屋上にシンプルなルーバーを配置して設備が直視されないように工夫した例

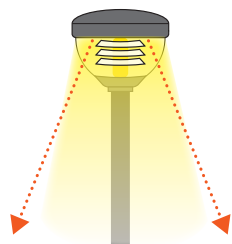


前面に格子を配置して周囲から目立たせない工夫が施された例

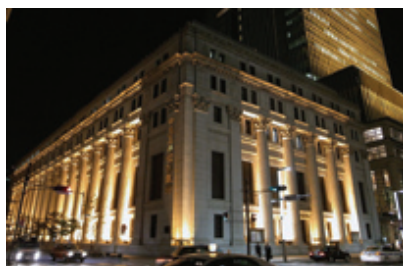
建築設備	景観形成基準	
該当地域		
①～⑥	29	道路等公共空間から見えにくい配置とするか、目隠し等の配慮をする。
③	30	屋上および壁面への設置はさける。

【屋外照明等】適切なライトアップで効果的に演出しましょう

- ・建築物等へのライトアップは、外壁等を照らす方向を絞り込み、控えめな照射とし、周囲への漏れ光を防止しましょう。
- ・屋外に設置する照明器具は、過度な発光をさけ、安全性を考慮した控えめな発光とし、人にやさしい夜間照明としましょう。



灯具の内部に遮光板等を設けることで、照らす方向を絞り込み、光の拡散を抑制することが可能です。



効果的なライトアップで建物意匠を演出している例



河川沿い遊歩道と沿道建物のライトアップ例

屋外照明等	景観形成基準	
該当地域		
②	31	過度に明るい照明やライトアップは控え、周辺景観、道路等公共空間や水辺空間との調和に配慮する。
⑤⑥	32	建物付属の照明器具（壁面灯など）は、『代表的な「水辺景観」』に示す「ひょうたん島光環境ガイドライン」のゾーン別光環境計画の方針を考慮したものとする。
⑤⑥	工作物 16	屋外の照明器具（街灯、植栽灯等）、発光性の広告物（屋外広告物、ビル名、マーク、壁面広告、袖看板、窓面広告、立看板等）は、『代表的な「水辺景観」』に示す「ひょうたん島光環境ガイドライン」のゾーン別光環境計画の方針を考慮したものとする。

【緑化】敷地外周部の緑化を図り、周りに緑の小陰を提供しましょう

- ・道路等に面して建築物を配置する場合は、まち並みとの連続性に配慮しつつ、道路に面する場所に積極的な植栽をおこなひましょう。
- ・道路等に面して屋外駐車場等を配置する場合は、道路に面して積極的な植栽をおこなうなど、緑化により、目立たせない工夫をしましょう。



敷地の空間を活用して植栽がおこなわれているまち並みの例



敷地の積極的な植栽により、まち並みや歩道部にうるおいを創出している例



業務施設の敷地エントランス周りに植栽による演出がおこなわれている例



道路に面して積極的に植栽を行い、駐車している車が目立ちにくくなる工夫をしている例

緑化 該当地域	景観形成基準	
①③	33	道路等公共空間に面する部分や敷地内の緑化に努める。
②④⑤⑥	34	道路等公共空間に面する部分、敷地内および屋外駐車場等のオープンスペースの緑化に努める。
③	35	敷地内は緑化に努め、庭園整備や寺社建築として敷地内の演出に努める。